

2007年6月6日

企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会が グローバル・コンバージェンスを議論する会合を開催

企業会計基準委員会
米国財務会計基準審議会

米国財務会計基準審議会 (FASB) のボード・メンバーとスタッフが来日し、企業会計基準委員会 (ASBJ) のボード・メンバーとスタッフとの会合を東京で開催いたしました。この会合は、ASBJの西川委員長、FASBのハーズ議長主導の下、会計基準のグローバル・コンバージェンスという共通の目標を有する両者間の対話を促進するためにASBJとFASBとが定期的に行っているもので、今回で第三回目となりました。

コンバージェンス、すなわち、国内及び海外両方の利用に資するような高品質かつ共通の会計基準の開発は、ASBJ と FASB にとって、重要な取組事項となっています。両者は、国際会計基準審議会 (IASB) と連携を図っていますが、世界の主要なビジネスや資本市場における共通のグローバルな財務報告は、信頼性があり、比較可能性があり、概念的に堅固で、かつ、利用しやすい財務情報を提供するための重要な要素になると考えています。

今回の会合の中で、ASBJ からは、それぞれのプロジェクトが目指している目的、ならびに、米国会計基準、国際財務報告基準および日本基準間の差異に触れた上で、プロジェクトの現状を説明しました。この中で、主に、セグメント別報告、無形資産、特別目的事業体といった短期コンバージェンス項目及びその他の重要なプロジェクトについて議論を行いました。

FASB からは、年金を含む退職後給付に関する事業主の会計、財務諸表の表示、金融商品の公正価値会計、リース会計、金融商品：負債と資本の区分、の各プロジェクトについて現状説明が行われました。また、概念フレームワーク・プロジェクトの現状については、予備的見解「財務報告のための概念フレームワーク：財務報告の目的と意思決定に有用な財務報告情報の質的特性」の再審議の状況が説明されました。

さらに、両者は以下のプロジェクトの状況について意見交換を行いました。

- 概念フレームワークにおける測定

- 負債と資本の区分
- 企業結合
- 退職後給付会計

両者は、このような議論により相互理解を深めることは、ASBJとFASBそれぞれにおける今後の審議や、それぞれがIASBと進めているコンバージェンスの作業に資するとの考えで一致し、引き続き、中長期的課題や現在の懸案事項について意見交換していくこととしました。

西川郁生 ASBJ 委員長は次のように述べました。

「我々は、定期会合における FASB の協力と実り多い成果に感謝しています。この会合は、日本での会計基準の開発のみならず、会計基準のグローバルなコンバージェンスにとって有意義なものであり、かつ、重要な意味をもつものと信じております。ASBJ と FASB は、IASB と協力しながら、グローバルなコンバージェンスの達成に向けて、引き続き連携を図っていきます。」

ロバート・ハーズ FASB 議長は次のように述べました。

「ASBJ との定期会合は、両ボードにとって、コンバージェンスに関連する重要な論点を議論するための貴重な基盤です。この会合は、グローバルな局面にとって最も重要な会計上・財務報告上の論点に対し、素晴らしい見方や考え方をもち、最良の解決策をボード間で共有することを可能にします。我々は、引き続き ASBJ と連携を図り、今後も、グローバルなコンバージェンスの総合的な達成に向けて最大限の努力を続けていきます。」

なお、次回の会合は 2007 年 10 月にノーウオークで開催する予定です。

企業会計基準委員会 (ASBJ) について

ASBJは、2001年7月に民間部門の機関として設立された。ASBJが開発した会計基準は、一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として、金融庁により認められることとなる。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、世界的な会計基準の開発に貢献している。ASBJに関する詳細な情報は、ホームページwww.asb.or.jpをご参照いただきたい。

米国財務会計基準審議会 (FASB) について

FASBは、1973年以来米国における財務会計及び財務報告基準を設定するための民間部門の機関として指定されている。それらの基準は、財務報告書の作成を規定し、証券取引委員

会及び米国公認会計士協会により権威のあるものとして正式に認識されている。投資家、債権者、監査人及びその他の人々は、信頼性、透明性、比較可能性のある財務情報を必要とするため、このような基準は、経済の効率的機能にとって不可欠である。FASBに関する詳細な情報は、ホームページwww.fasb.orgをご参照いただきたい。

以上